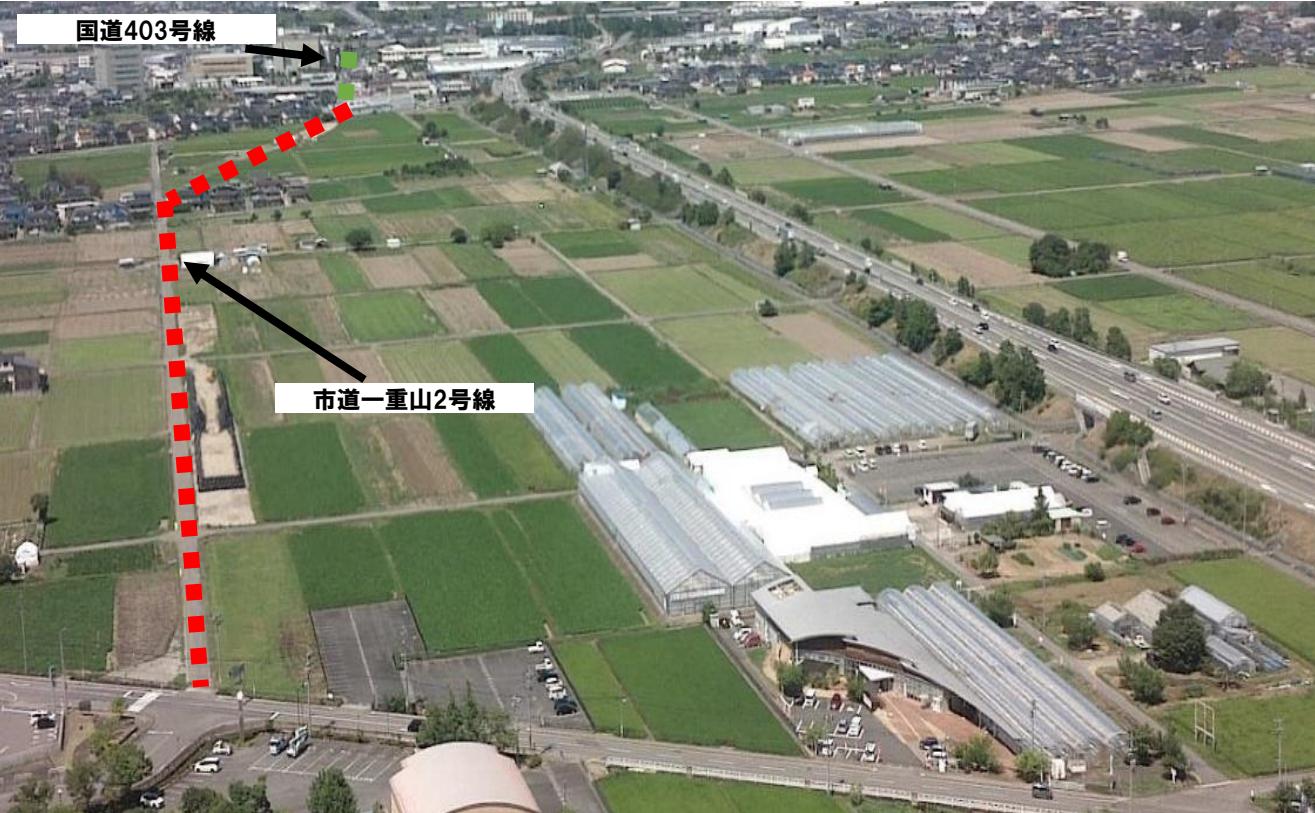


◎都市計画道路 一重山線の進捗状況について

※R7.10.10都市計画道路一重山線（打沢屋代間）
整備促進期成同盟会 資料より抜粋



○国道403号線

市が行う交差点改良範囲を除いた国道403号の未整備区間(L=180m)について、長野県において新規事業化され、本年度から幅員20mで測量及び設計を進めています。

○市道一重山2号線

- 事業用地は面積ベースで概ね8割(R7.8月末時点)を取得済みです。
 - 事業進捗を図るべく、引き続き用地物件補償、埋蔵文化財の発掘調査及び軟弱地盤対策工事を実施しています。
 - 軟弱地盤対策に使用する盛土材(建設発生土)は、費用縮減のため市発注工事のほか、千曲建設事務所、川中島水道管理事務所から受入中であり、今後の長野県の発注工事から受け入れを予定しています。
- ※一時受入地(R7～R9)は、農地(商業ゾーンの一部)を借地しています。

編集後記

私たちは「屋代地区(上信越自動車道西側エリア)の開発を進めることができ、若い世代の移住や雇用・税収の確保につながり、地域活力創造の一助になる…」との思いから本事業を進めております。地権者の皆様の変わらぬご支援を引き続きお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】
〒387-0005 千曲市大字森2536番地8(林会長宅)
自宅:026-272-0809 携帯:090-2335-3538

地権者会の情報は、
市のホームページでも公
開していただいています。
詳しくはこちらへ ➔



屋代地区まちづくりニュース 第18号

発行：屋代地区開発事業に係る地権者会

(仮称)屋代スマートIC関連事業の進捗状況(その1)

令和7年6月27日、(仮称)屋代スマートIC関連事業のうちモーダルコネクト拠点および公共文化ゾーン(旧流用土ストックヤード)の地権者の皆様を対象に進捗状況の説明がありました。



◎市からの説明要旨

【モーダルコネクト拠点】

- ・基本計画(案)がまとまり、今年度はパブリックコメントを経て計画決定の予定
- ・来年度以降用地測量・用地買収を進めたい
- ・個別の価格は近傍の公共事業単価を目安に今後の説明会等でお示ししたい

【流用土ストックヤード】

- ・流用土ストックヤードとしての用地取得は法令等の規制により困難となった
- ・公共文化ゾーンとしての土地利用計画が具体的に固まり次第、説明会等を行う

【その他】

- ・耕作者との利用権設定の延長する際は、事前に市に相談いただきたい

◎質疑応答要旨

Q 流用土ストックヤードは、用地測量の段階で規制を理解していなかったのか。

A 当時から各種法令の規制等があることは理解しており、国や県と協議を続けていたが結果として用地取得ができない結果となった。流用土ストックヤードは一時的な利用となるので田んぼとして原状復帰する必要がある。

Q 公共文化ゾーンは流用土ストックヤードと同じ場所か。いつ買収するのか。

A 流用土ストックヤードと同じ場所で検討します。
具体的な計画がまだ出来ていないためいつ買収するかお答えできない。現在策定中の「S I Cを活用した魅力あるまちづくり方針」の中で、どういったものが必要なのか検討をお示ししたい。

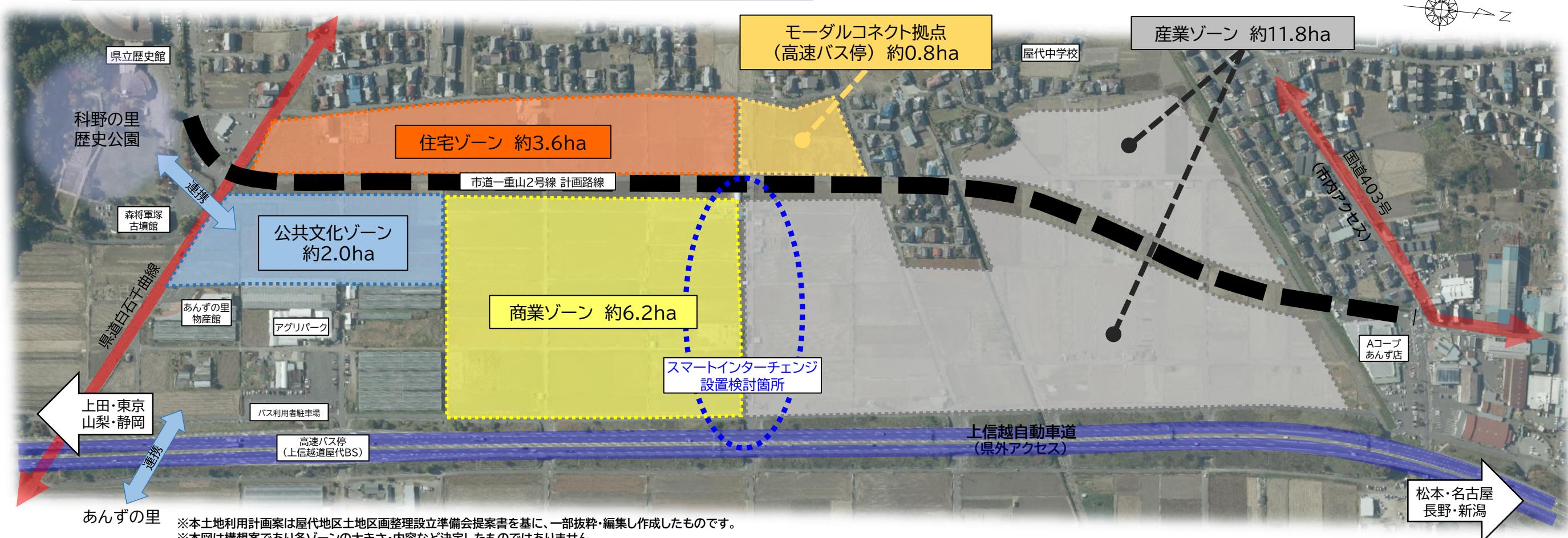
Q 流用土ストックヤードの場所は令和8年は田んぼを続けて良いか。

A 続けて構わない。ただし、今後土地利用計画が具体的になり次第、耕作に支障をきたさないよう時期について説明会等を行いたい。

Q モーダルコネクト拠点の場所は、田んぼは令和8年は続けて良いのか。

A 続けて構わないが、用地測量のための杭を打つことがあるのでそのあたりのご協力をお願いしたい。

屋代地区まちづくり構想案（土地利用計画）の進捗状況



※本土地利用計画案は屋代地区土地区画整理設立準備会提案書を基に、一部抜粋・編集し作成したものです。
※本図は構想案であり各ゾーンの大きさ・内容など決定したものではありません。

区画	商業ゾーン	住宅ゾーン	産業ゾーン	公共文化ゾーン	モーダルコネクト拠点
事業主体	(株)長工	(株)長工	大和ハウス工業(株)	千曲市	千曲市
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域未来投資促進法に基づき千曲市が策定した土地利用調整計画が今年5月に県同意を得た ◎地域未来投資促進法に基づき株長工が策定した地域経済牽引事業計画が今年5月に県承認を得た ◎千曲市において令和8年度中の農振除外に向けた手続きを進めている 	<ul style="list-style-type: none"> ◎第Ⅱ期工事として(株)長工が開発手法を検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ◎大和ハウス工業(株)は企業誘致の為インフラ(道路、水道、電気等)の各種協議を進めており、同時に開発区域の区画の計画をしている。今後進捗に応じて地権者会の開催を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎このゾーンにスマートIC整備に必要な盛土材をストックする計画で、流用土ストックヤードの測量・設計を進めたが、各種法令の規制等により取得できなかった ◎公共文化ゾーンとしての土地利用計画が具体的に固まり次第、改めて説明会等を開催する 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「スマートIC周辺での交通拠点整備基本計画」を今年8月に策定した ◎令和8年度以降用地測量を行い、用地取得手続きを進める